

メダカのとまごを、なぜあさい入れ物でふ化させるの



メダカのとまごは呼吸しているの^{こきゅう}で、できるだけ空気がとけこみやすい、水面近くにおいてやるためだよ。

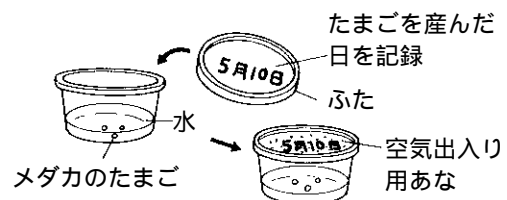
メダカのとまごは、呼吸のために空気（酸素）^{さんそ}が必要

メダカのとまごは生きているので、呼吸のための空気が必要です。エアープンプで、たえず水中に空気が送りこまれている水そうなら、水草についたままふ化します。でも、とまごだけ取り出して、水が多いコップなどに入れたりしていると、酸素不足で死んでしまいます。そのため、あさい入れ物に入れて、水も少なめにします。水温が変化しやすくじょう発しやすいので、下図のようにするとよいでしょう。

かたまつたとまごは、できるだけ1個ずつはなしてふ化させる

メダカのとまごは、くっつきやすい糸のようなものでつながっていて、産んだ後もしばらくメスの腹^{はら}にくっついていて、ほかのメダカに食われないように、水草からみつやすくなっているのです。

そのため、水草から集めたとまごが、からみ合ったままになっていることがあります。そのままにしておくと、からんだ中のほうのとまごは、酸素不足で死んでしまい、カビがはえたりします。放っておけば、ほかのとまごも、カビのため死んでしまうことがあります。とまごは水中でゆすって、ほぐし、1個ずつはなして、あさい入れ物に入れてやるといいでしょう。



水温が上がらないよう、水につける
とまごをふ化させる方法